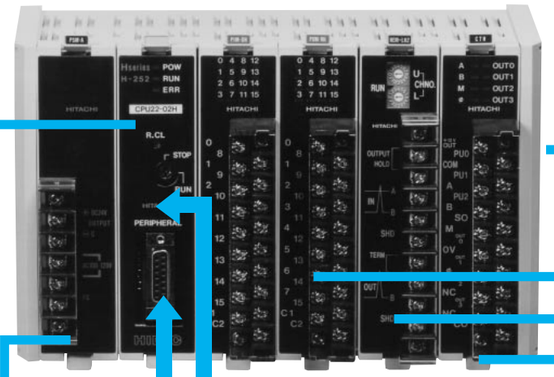
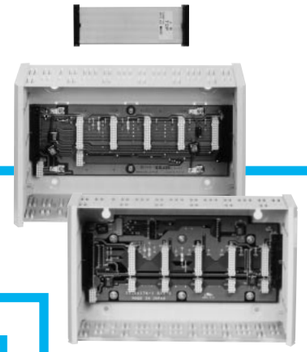
機器構成（H-200/250/252）

CPUモジュール	メモリパック
〈H-200〉 CPU-02H（RAM7.6kステップ内蔵） CPE-02H（EEPROM対応版CPU）	MPH-8R（EPROM7.6kステップ） MPH-4E（EEPROM3.5kステップ） MPH-16R（EPROM15.7kステップ） MPH-16E（EEPROM15.7kステップ、コピー機能付き） MPH-8E（EEPROM7.6kステップ、コピー機能付き） MPH2-4E（EEPROM3.5kステップ、コピー機能付き） メモリパックはメモリ容量との関係もあるため CPUとの組み合わせに注意が必要です。
〈H-250〉 CPU21-02H	
〈H-252B〉 CPU22-02HB	
〈H-252C〉 CPU22-02HC（RS232C 2ポート）	使用不可
CPU22-02HC（RS232C 2ポート EEPROM内蔵）	





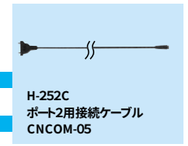
ベース（基本・増設共用）	増設ケーブル
〈標準ベース〉※1 BSM-3A（3スロット） BSM-6A（6スロット） BSM-4A（4スロット） BSM-7A（7スロット） BSM-5A（5スロット） BSM-9A（9スロット） 〈高機能ベース〉※2 （通信機能バス付きH-252B専用） BSH-3（3スロット） BSH-7（7スロット） BSH-5（5スロット） BSH-10（10スロット）	CNM-01（0.1m） CNM-06（0.6m） CNM-10（1.0m）

※1 RIOH-TLをご使用の場合は標準スペースを使用ください。
※2 LINK-02H、TLINK-02Hをご使用の場合は高機能ベースを使用ください。

電源モジュール
PSM-A（AC入力） PSM2-A2（AC入力、CH2＋CH3＝0.7A） PSM2-B（AC入力、出力電流増加形） PSM-D（DC入力）

RS-232C
（HI-PROTOCOL）

PERIPHERAL
ポート1



H-252C
ポート2用接続ケーブル
CNCOM-05

H-252C
PERIPHERAL
ポート2

入出力モジュール			
入力モジュール			出力モジュール
AC入力（100/200V）		PIM-A（8点） PIM-AH（16点） PIM-AW（16点、着脱端子台）	リレー出力（バリスタ付）：POM-RB（8点） POM-RBC（8点、独立接点） POM-RBH（16点） POM-RBW（16点、着脱端子台）
DC入力（24V シンク）		PIM-D（8点） PIM-DH（16点） PIM-DW（16点、着脱端子台） PIH-DM（32点、コネクタ）	トライアック出力：POM-S（8点） POM-SH（16点） POM-SW（16点、着脱端子台）
	外部給電	PIM-DG（8点） PIM-DGH（16点） PIM-DGW（16点、着脱端子台）	
DC入力（24V ソース）		PIM-DP（8点） PIM-DPH（16点） PIM-DPW（16点、着脱端子台）	トランジスタ出力（シンク）：POM-T（8点） POM-TH（16点） POM-TW（16点、着脱端子台） POM-TM（32点、コネクタ）
入出力混合モジュール			トランジスタ出力（ソース）：POM-TP（8点） POM-TPH（16点） POM-TPW（16点、着脱端子台）
PHH-DT（DC入力8点、トランジスタ出力8点） PHM-TT（TTL入力16点、TTL出力16点）			

通信機能モジュール	
CPUリンク※2	LINK-02H（同軸ケーブル、64局、1,024ワード/系統） TLINK-02H（ツイストペアケーブル、32局、1,024ワード/系統） ※2 H252B（CPU22-02HB）H252C（CPU22-02HC）用 IOLH-T（ツイストペアケーブル、8局、8ワード/系統）
I/Oリンク	REM-LH2（ツイストペアケーブル） 〈H-200/250/252専用I/Oリンク〉
リモートI/O	RIOH-TM（リモート親局、ツイストペアケーブル） RIOH-TL（リモート子局、ツイストペアケーブル）

高機能モジュール	
高速カウンタ	CTH（1相/2相、10kHz）
アナログ入力	AGH-I（8量、4〜20mA、8ビット）
	AGH-IV（8量、0〜10V、8ビット）
	AGH-IV2（8量、電流/電圧切り替え形、12ビット）
	AGH-I16（8量、4〜20mA、16ビット）
	AGH-V16（8量、0〜10V、16ビット）
アナログ出力	AGH-O（4量、4〜20mA、8ビット）
	AGH-OD（2量、4〜20mA、8ビット）
	AGH-OV（4量、0〜10、8ビット）
	AGH-ODV（2量、0〜10V、8ビット）
シリアルI/O	SIH（RS-232C）
位置決め	POSH（2軸パルス位置決め）

その他	
LIBAT-H（リチウム電池）	DRM35（DINレール取り付け用アダプタ）
CVM（空スロット用カバー）	マニホールド電磁弁1/F

周辺機器（プログラミング機器）

CPU接続ケーブル
PCCB02H（2m）

CPU接続ケーブル
（お客様にて用意）

CPU接続ケーブル
WPCB02H（PC9800シリーズ用）2m
WVCB02H（DOS/Vパソコン用）2m

CPU接続ケーブル
PGCB02H（2m）
PGCB05H（5m）

日本語対応

パーソナル
コンピュータ（ノートタイプ）
PC9800シリーズ
（日本電気株式会社）

※サポートソフト
HL-PC3
（LADDER
EDITOR、和文）

英語対応

パーソナルコンピュータ
FLORAなど
（PC/AT互換パソコン）

サポートソフト
HL-AT3E
（LADDER
EDITOR、英文）

日本語・英語対応

パーソナルコンピュータ

サポートソフト
HLW-PC3、HLW-PC3E
（LADDER EDITOR
for Windows® 和・英）

命令語プログラマ
PGM-CHH

命令語プログラマにはCPUの接続ケーブルが
別途必要となります。

サポートソフト
LADDER EDITOR for Windows®

CRT
（市販品）

オーディオセット
（市販品）

パラレルプリンタ
（市販品：日立、エプソン社）

周辺機器（生産管理・監視）

各社液晶グラフィック
ディスプレイ

パーソナルコンピュータ
（市販品）

高速演算性・拡張性など数々のメリットを満載した、機能と性能。

■基本仕様

項目			製品名	H-252C		H-252B	H-250	H-200
			形式	CPU22-02HC	CPE22-02HC	CPU22-02HB	CPU21-02H	CPU-02H
制御仕様	最大使用スロット数			29			16	
	入出力点数	8点I/Oモジュール		最大232点			最大128点	
		16点I/Oモジュール		最大464点			最大256点	
		32点I/Oモジュール		最大928点			最大512点	
		32点I/Oモジュール+リモートI/O		最大1,312点			最大896点	
	命令語・ラダー図	処理方式		ストアードプログラム・サイクリック方式				
		処理速度	シーケンス命令	0.2μs/命令			0.6μs/命令	1.5μs/命令
			算術・応用命令	数μs～数1,000μs/命令				
		ユーザプログラムメモリ		15.7kステップ(RAM)(15.7kステップRAMはCPUに内蔵)	15.7kステップ(EEPROM)(EEPROMはCPUに内蔵)	15.7kステップ(RAM、RPROM、EEPROM) 7.6kステップ（EPROM、EEPROM） 3.5kステップ（EEPROM） (15.7kステップRAMはCPUに内蔵)	7.6kステップ（RAM、EPROM、EEPROM） 3.5kステップ（EEPROM） （7.6kステップRAMはCPUに内蔵）	
		命令語	シーケンス命令	39種（ダブルワード演算可）				31種 （ダブルワード演算はサポートせず）
			算術・応用命令	114種			70種	51種
		ラダー図	シーケンス命令	39種（ダブルワード演算可）				31種 （ダブルワード演算はサポートせず）
			算術・応用命令	114種			70種	51種
入出力処理仕様	入出力処理方法			ダイレクト処理/リフレッシュ処理				
	内部出力	ビット		1,984点（R0～R7FF）				
		ワード		17kワード（WR0～WR43FF）			1kワード（WR0～WR3FF）	
		特殊	ビット	64点（R7C0～R7FF）				
			ワード	512ワード（WRF000～WRF1FF）				64ワード(WRF000～WRF03F)
		CPUリンク		16,384点　1,024ワード×2ループ (L0～L3FFF、L10000～L13FFF/WL0～WL3FF、WL1000～WL13FF)			128点/8ワード×2	
		リモート入出力		128点×4ポート				128点×3ポート
		ビット/ワード共用		16,384点/1kワード				4,096点/256ワード
	タイマ・カウンタ	点数		512点（TD＋CU）（タイマは0～255、10msタイマは64点）				
		タイマ設定値		0～65,535s タイムベース0.01s、0.1s、1s				
		カウンタ設定値		1～65,535回				
	エッジ検出			立ち上がり512点、立ち下がり512点				立ち上がり128点、立ち下がり128点
	カレンダー時計			年・月・日・曜日・時・分・秒				
周辺機能	プログラム方式			命令語、ラダー図				
	RS232Cポート			2ポート		1ポート		
	周辺装置	ポート1		PGM-GPH PGM-CHH LADDER EDITOR Ver.2（形式：HL-PC3、HL-AT3E） LADDER EDITOR for Windows Ver.2（形式：HLW-PC3）				
		ポート2		LADDER EDITOR Ver.2 LADDER EDITOR for Windows Ver.2		なし		
	周辺装置			命令語プログラマ（PGM-CHH）、汎用パソコン（NEC製PC9800シリーズ）*1/（DOS/Vパソコン）*2				

8点～32点のラインアップでシステムニーズにこたえる、入出力モジュール。

仕様表（入力モジュール）

項目＼形式		PIM-D	PIM-DH、DW	PIM-DG	PIM-DGH、DGW	PIH-DM	PIM-A	PIM-AH、AW	PIM-DM	PIM-DPH、DPW
入力仕様		DC入力					AC入力		DC入力	
入力電圧		DC21.6～DC26V					AC85～264V		DC21.6～26V	
入力電流		約9mA/DC24V（インピーダンス約2.7kΩ）				約5mA/DC24V	約7mA/AC100V、50Hz（インピーダンス約14kΩ）		約9mA/DC24V（インピーダンス約2.7kΩ）	
動作電圧	ON	ON電圧19V以上（ON抵抗300Ω以下）					AC85V以上		ON電圧19V以上（ON抵抗300Ω以下）	
	OFF	OFF電圧7V以下（OFF抵抗200Ω以上）					AC30V以下		OFF電圧7V以下（OFF抵抗200Ω以上）	
最大入力遅れ時間	ON→OFF	4ms					16ms		4ms	
	OFF→ON	4ms					16ms		4ms	
入力点数		8点	16点	8点	16点	32点	8点	16点	8点	16点
入力コモン		8点/コモン					8点/コモン		8点/コモン	
極性		コモン端子 ⊖		コモン端子 ⊕			－		コモン端子 ⊖（ソースタイプ）	
絶縁方式		フォトカプラ					フォトカプラ		フォトカプラ	
消費電流（平均）※注1	CH1	0.5mA＋（入力ON点数）×0.5mA				20mA	1mA		0.5mA＋（入力ON点数）×0.5mA	
	CH3	（入力ON点数）×9mA		未使用（外部給電）		0mA	0mA		0mA	

入力モジュールは、CH2を使用しません。（0mA）

仕様表（出力モジュール）

項目＼形式		POM-RB	POM-RBH、RBW	POM-S	POM-SH、SW	POM-T	POM-TH、TW	POH-TM
出力仕様		リレー出力		トライアック出力		トランジスタ出力		
出力電圧		AC85～264V、DC21～27V		AC85～264V		DC5から27V		DC5から27V
動作電圧	1回路	2A（COSφ＝1）、1A（COSφ＝0.4）		1A		0.5A		0.1A
	4回路	－		－		1.25A		－
	8回路	4A		4A		－		－
最小負荷電流		10mA（DC5V）		50mA（AC200V）		10mA（DC24V）		1mA（DC24V）
最大漏洩電流		－		1mA（AC200V）		0.1mA（DC24V）		50μA（DC24V）
最大突入電流		6A（100ms）		20A（20ms）		3A（20ms）		1A（10ms）
最大出力遅れ時間	ON→OFF	10ms		11ms		1ms		
	OFF→ON	10ms		11ms		1ms		
出力点数		8点	16点	8点	16点	8点	16点	32点
出力コモン		8点/コモン		8点/コモン		8点/コモン		
極性		－		－		コモン端子 ⊖		
絶縁方式		リレー		フォトカプラ		フォトカプラ		
消費電流（平均）※注1	CH1	0.2mA＋（出力ON点数）×0.2mA		0.3mA＋（出力ON点数）×0.2mA		0.2mA＋（出力ON点数）×0.2mA		70mA
	CH3	（出力ON点数）×10mA		（出力ON点数）×6.5mA		（出力ON点数）×6.5mA		0mA

出力モジュールは、CH3を使用しません。（0mA）

項目＼形式		POM-TP	POM-TPH、TPW
出力仕様		トランジスタ出力	
出力電圧		DC3～26V	
最大負荷電流	1回路	0.5A	
	4回路	1.25A	
	8回路	－	
最小負荷電流		10mA（DC24V）	
最大漏洩電流		0.1mA（DC24V）	
最大突入電流		3A（20ms）	
最大出力遅れ時間	ON→OFF	1ms	
	OFF→ON	1ms	
出力点数		8点	16点
出力コモン		8点/コモン	
極性		コモン端子 ⊕（ソースタイプ）	
絶縁方式		フォトカプラ	
消費電流（平均）※注1	CH1	0.2mA＋（出力ON点数）×0.2mA	
	CH3	（出力ON点数）×6.5mA	

出力モジュールは、CH3を使用しません。（0mA）

仕様表（独立リレー接点出力モジュール）

項目＼形式		POM-RBC
出力仕様		リレー出力
出力電圧		AC85～264V
最大負荷電流	1回路	2A
最大突入電流		6A（100ms）
最大出力遅れ時間	ON→OFF	4ms
	OFF→ON	5ms
出力点数		8点
出力コモン		1点/コモン
絶縁方式		リレー
消費電流（平均）※注1	CH1	0.2mA＋（出力ON点数）×0.2mA
	CH2	（出力ON点数）×10mA
	CH3	0mA

※1. モジュールでの消費電流を示します。各チャンネルごとの合計消費電流を電源モジュールの最大負荷電流以下にしてご使用ください。

仕様表（入出力混合モジュール）

項目＼形式		PHH-DT	
入出力仕様		DC入力	トランジスタ出力
許容電圧範囲		DC21.6～26V	DC5～27V
入力電流		9mA	—
動作電圧	ON	19V以上（ON抵抗300Ω以下）	—
	OFF	7V以上（OFF抵抗200Ω以上）	—
最大負荷電流	1回路	—	0.5A
	4回路	—	1.25A
	8回路	—	2.5A
最大漏洩電流		—	0.1mA（DC24V）
最大突入電流		—	3A（20ms）
最大遅延時間	ON→OFF	4ms	1ms
	OFF→ON	4ms	1ms
入出力点数		8点（0～7）	8点（8～15）
コモン		8点/コモン	8点/コモン
極性		コモン…⊖	コモン…⊖
絶縁方式		フォトカプラ	フォトカプラ
消費電流（平均）※注1	CH1	10mA＋（入力ON点数）×9mA＋（出力ON点数）×8mA	
	CH2	0mA	0mA
	CH3	（入力ON点数）×9mA	0mA

項目＼形式		PHM-TT	
入出力仕様		TTL入力	TTL出力（オープンコレクタ）
入出力電圧		DC4V～27V	DC4V～27V
入力電流		6mA（DC5V）	—
動作電圧	ON	1.5V以下（DC5V）	—
	OFF	3.5V以上（DC5V）	—
最大負荷電流		—	20mA/点
最大漏洩電流		—	50μA/点
最大遅延時間	ON→OFF	1ms	1ms
	OFF→ON	1ms	1ms
入出力点数		16点/モジュール	16点/モジュール
コモン		16点/コモン	8点/コモン
極性		コモン…⊖	コモン…⊖
絶縁方式		フォトカプラ	フォトカプラ
入出力表示		なし	なし
消費電流（平均）※注1	CH1	（出力ON点数）×5mA＋30mA	
	CH2	0mA	
	CH3	0mA	

仕様表（電源モジュール）

項目＼形式		PSM-A	PSM2-A2	PSM2-B	PSM-D
入力	電圧	AC 85～132V AC170～264V（切り替え）	AC85～264V	AC85～264V	DC19.2～30V
	周波数	47～63Hz	45～63Hz	47～63Hz	—
	電流	0.6A以下	0.6A以下	0.6A以下	1.6A以下
出力電流容量	CH1（5V）	1A	1A	1.7A	1A
	CH2（24V）	0.3A	合計0.7A	0.5A	0.3A
	CH3（24V）	0.45A		0.25A（注1）	1A（注2）

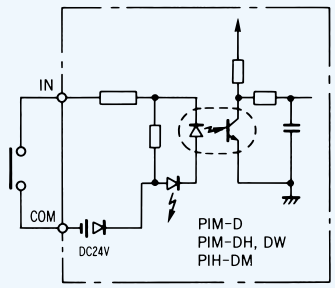
（注1）切り替えにより外部から供給可（IAMAX.）
（注2）外部から供給

回路構成（H-200/250/252）

入力モジュール

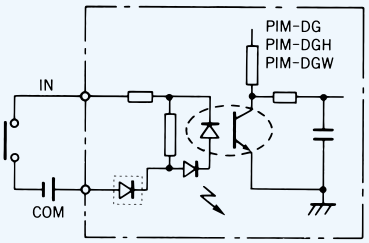
DC入力

（形式:PIM-D、PIM-DH、PIM-DW）



DC入力（外部給電タイプ）

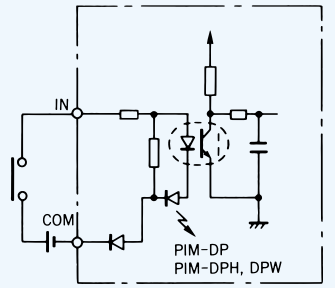
（形式:PIM-DG、PIM-DGH、PIM-DGW、PIH-DM）



□はPIH-DMはなし

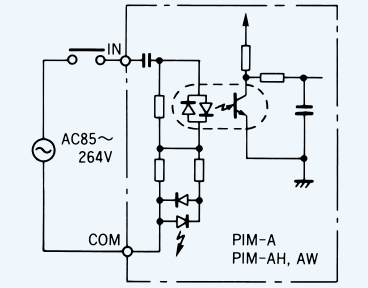
DC入力（ソースタイプ）

（形式:PIM-DP、PIM-DPH、PIM-DPW）



AC入力

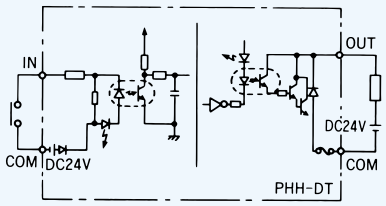
（形式:PIM-A、PIM-AH、PIM-AW）



入出力混合モジュール

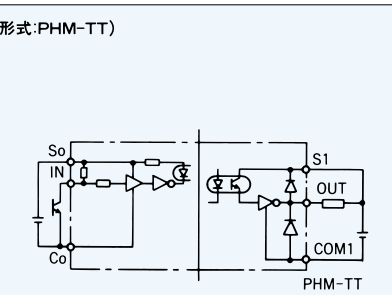
DC入力·トランジスタ出力

（形式:PHH-DT）



TTL入力・TTL出力

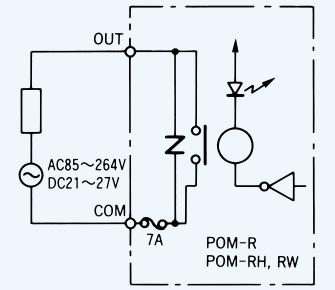
（形式:PHM-TT）



出力モジュール

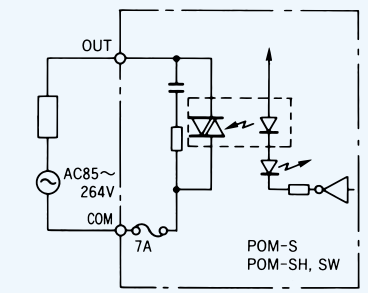
リレー出力

（形式:POM-RB、POM-RBH、POM-RBW、POM-RBC）



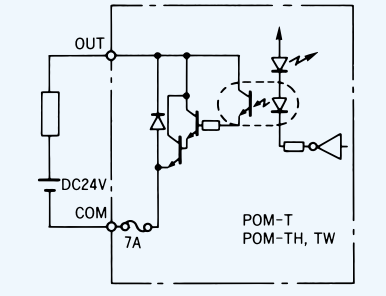
トライアック出力

（形式:POM-S、POM-SH、POM-SW）



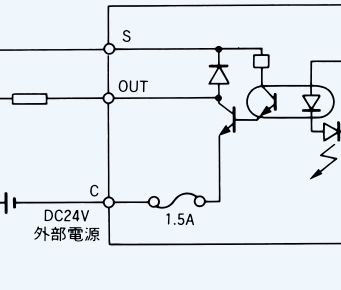
トランジスタ出力

（形式:POM-T、POM-TH、POM-TW）



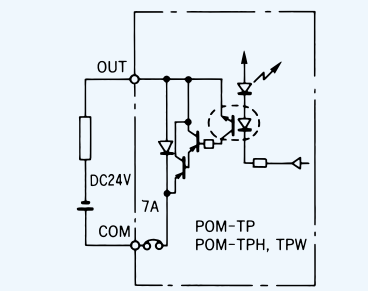
トランジスタ出力

（形式:POH-TM）



トランジスタ出力（ソースタイプ）

（形式:POM-TP、POM-TPH、POM-TPW）

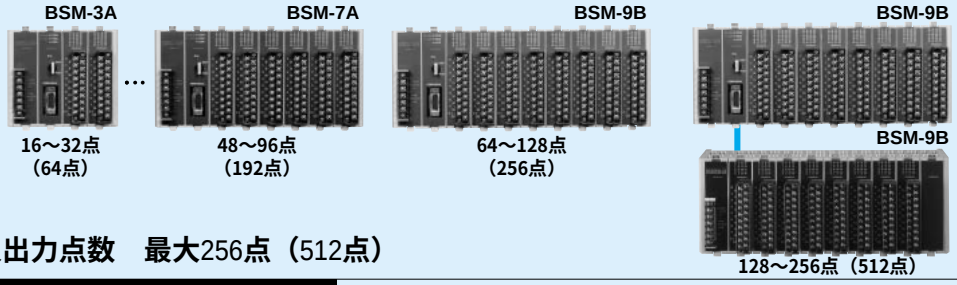


システムアップは8点単位で自在。しかも省スペース・コンパクト

●外部入出力は最大でH-250は16スロットH-252は29スロット。最大入出力点数は464点まで、8点単位に任意な構成ができます。
●電源モジュールやCPUモジュールは1スロット幅。ベースも1スロット単位でラインアップしているので、最小の据え付け面積で構成できます。

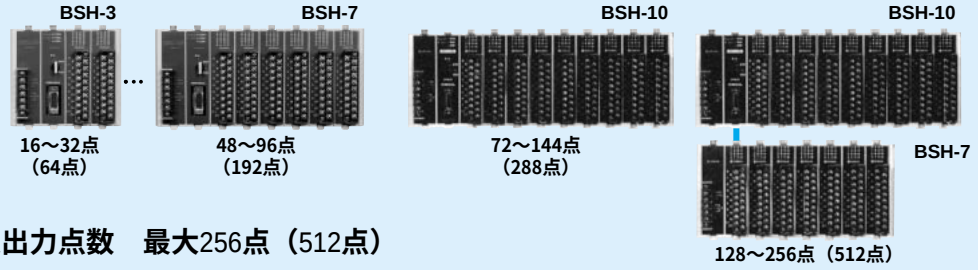
システム構成（スタンドアロン）

H-200/250/252　ベースとして標準ベースBSM-3AからBSM-9Bを使用した場合（最大16スロットまで）



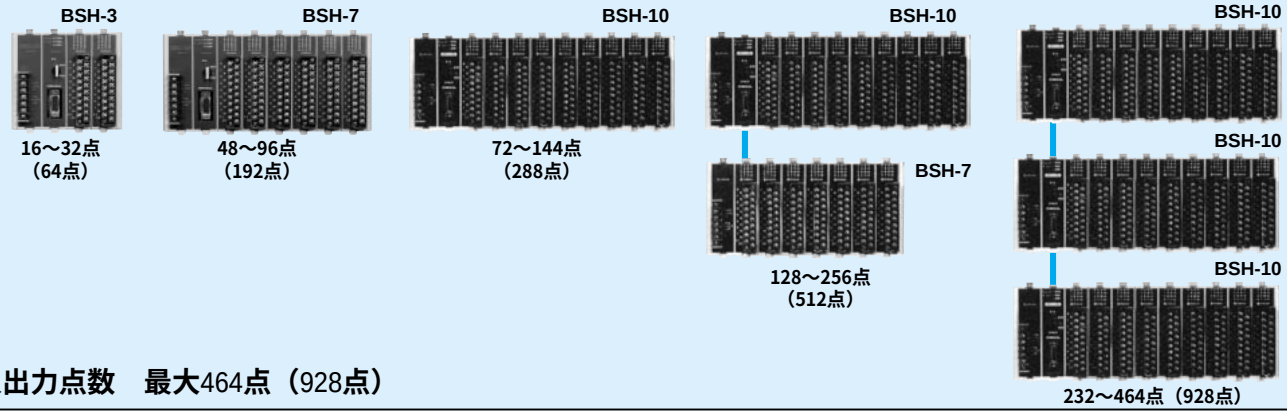
入出力点数　最大256点（512点）

H-250　ベースとして高機能ベースBSH-3～BSH-10を使用した場合（最大16スロットまで）



入出力点数　最大256点（512点）

H-252　ベースとして高機能ベースBSH-3～BSH-10を使用した場合



入出力点数　最大464点（928点）

8点～16点モジュール使用時、（　）内は32点モジュール使用時。
基本ベースと増設ベースにおいて標準ベースと高機能ベースを混在させて使用することができませんのでご注意ください。

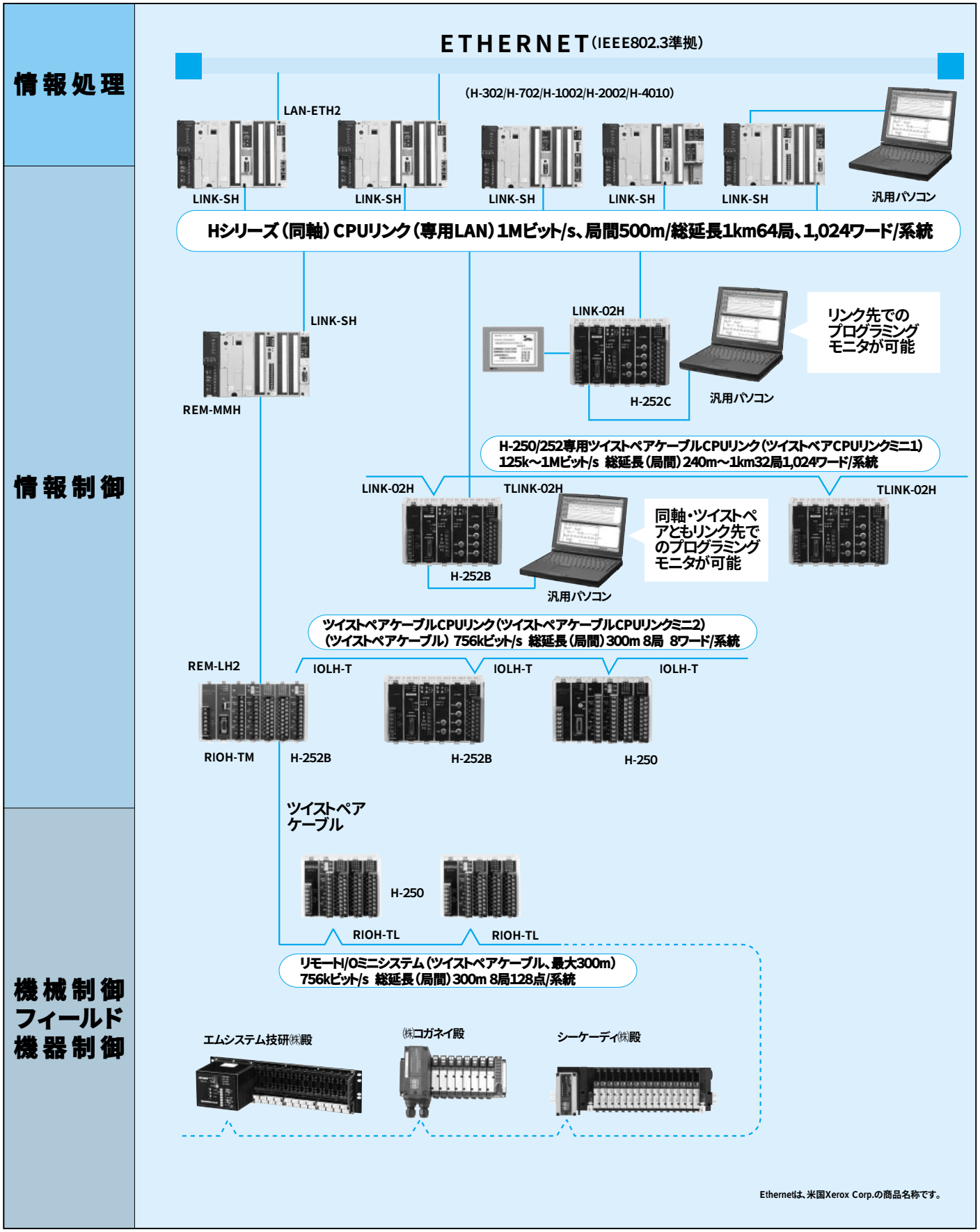
仕様範囲

種類		シリーズ名 / 形式	〈H-200〉 CPU-02H、CPE02-H	〈H-250〉 CPU21-02H	〈H-252B〉 CPU22-02HB	〈H-252C〉 CPU22-02HC、CPE22-02HC
メモリーパック		MPH-8R、MPH-4E	○	○そのまま使用できます。		（使用不可）
		MPH2-4E、MPH-8E MPH-16E、MPH-16R	△（7.6kステップまで使用できます。コピー機能が使用できません。）	○（CPU21-02Hは7.6kステップまで使用できます。）		（使用不可）
ベース	標準	BSM-3A、BSM-4A、BSM-5A BSM-6A、BSM-7A、BSM-9B	○		○（そのまま使用できます。ただし、CPUリンク機能は使用できません。）	
	高機能	BSH-3、BSH-5、BSH-7 BSH-10	高機能ベースにH-200用CPUを実装し動作させることはできません。	○ 基本ベースと増設ベースにおいて標準ベースと高機能ベースを混在させて使用することはできません。（RIOH-TL、RIOMは使用できません。）		
入出力モジュール		（H-200用入出力モジュール）	○	○そのまま使用できます。		
		TLINK-02H	TLINK-02Hを用いてのCPUリンク機能は使用できません。		○（CPU22-02HB/C専用）	
		LINK-02H	LINK-02Hを用いてのCPUリンク機能は使用できません。		○（CPU22-02HB/C専用）	

上位機種のH-300～H-2002との互換性についてはH-250/252のマニュアル（互換性）をご参照ください。

通信システムの構築も、カンタン・手軽。

システム構成（応用システム）



Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。

CPUリンクモジュール（LINK-02HおよびTLINK-02Hは、H-252専用）

特長

- ●同軸タイプ（形式：LINK-02H）はH-302～H-2002、H-4010とのCPUリンクが可能。
- ●LINK-02HおよびTLINK-02を使用のCPUリンクはリンク先CPUのプログラミングモニタが可能。
- ●機械相互のインタロックや生産ラインの自動化など分散制御に最適です。

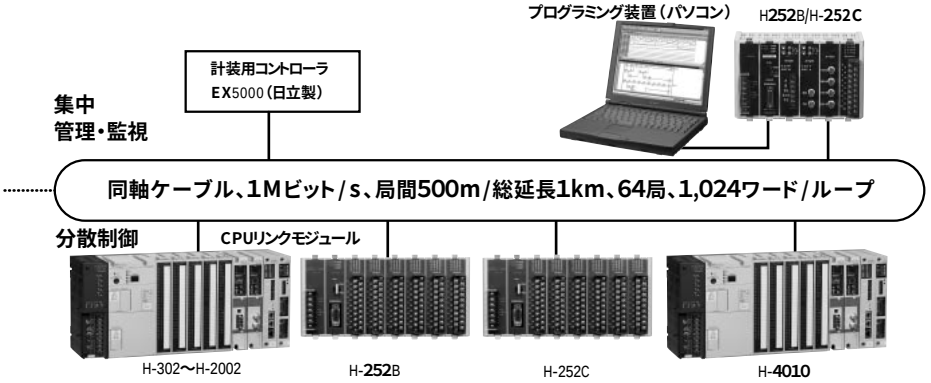
■CPUリンク、リモートI/Oモジュール仕様

項目＼形式		CPUリンクモジュール		
		LINK-02H（注1）	TLINK-02H（注1）	IOLH-T
最大接続台数		max.64台/ループ、128台/システム	max.32台/システム	8台
リンク、リモート点数		max.1,024ワード/ループ	max.1,024ワード/システム	8ワード（128点）
伝送速度		1Mビット/s	125k～1Mビット/s	768kビット/s
リフレッシュ時間		64局リンク、1,024ワード接続時…約390ms	1Mビット/s32局リンク、1,024ワード接続時…約200ms	10ms×ステーション数
エラーチェック		CRCオーバランチェック、タイムアウト、断線パラメータエラー		反転二連送
ケーブル長	ステーション間	500m max.（同軸ケーブル）	240～1,000m（0.3mm²ツイストペアケーブル使用時）	150m max.（0.3mm²ツイストペアケーブル使用時）
	総延長	1,000m max.（同軸ケーブル）		300m max.（0.75mm²ツイストペアケーブル使用時）
消費電流（平均）	CH1（5V）	510mA	300mA	150mA
	CH2（24V）	50mA	0mA	20mA
	CH3（24V）	—	0mA	5mA

（注1）CPUリンクモジュールは2台まで高機能ベースに実装できます。H-252専用です。

システム構成

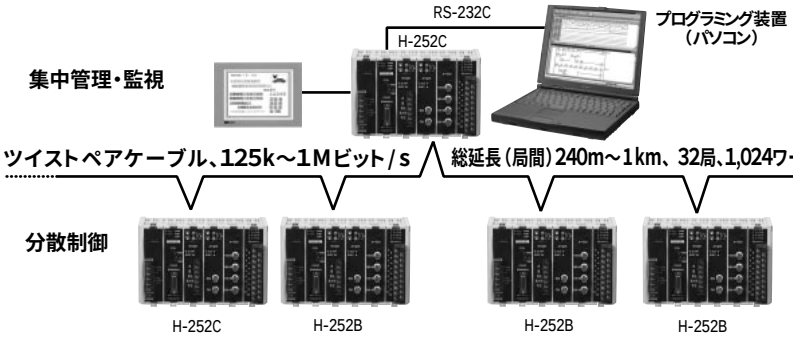
●LINK-02H



伝送路

形式		メーカー	外径	その他
同軸ケーブル	5D2VTXE	藤倉電線	—	推奨ケーブル側コネクタ BNC-P-5DV（ヒロセ製相当品）
	5D2VCCY	昭和電線	—	
	ECXF-5D-2VTCE	日立電線	—	

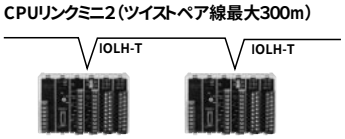
●TLINK-02H



伝送路

形式		メーカー	外径	その他
ツイストペアケーブル	CO-SPEV-SB(A)-IP-0.3mm²	日立電線	約φ5.5	終端抵抗はモジュールに内蔵（100Ω）

●IOLH-T



伝送路

使用ケーブル				ケーブル長		その他
形式		メーカー	外径	局間	総延長	
ツイストペア線	CO-SPEV-SB（A）-IP-0.3mm²	日立電線	約φ5.5	150m max.	150m max.	終端抵抗はモジュールに内蔵（100Ω）
	CO-EV-SX-IP-0.75mm²		約φ16	300m max.	300m max.	終端抵抗は外付け必要蔵（150Ω）

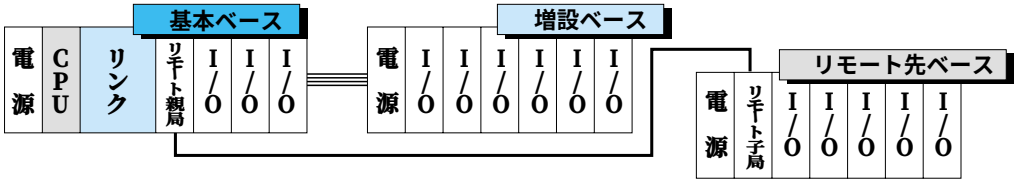
H-252B/C CPUリンクシステム

対象CPUリンクモジュール

形　式	仕　様	特　　長
LINK-02H	同軸ケーブル（64台リンク）	Hシリーズ上位機種（H-302～H-2002、H-4010）とのCPUリンクが可能で大規模システム対応
TLINK-02H	ツイストペアケーブル（32台リンク）	廉価で作業性の良いツイストペアケーブルを使用し、H-252B/C間のCPUリンクで中規模システムに最適

なお、H-252B/CでCPUリンクモジュールをご使用されるシステムの場合は、以下の適用表によりご使用モジュールの選定をお願いいたします。

リンクシステム構成例



■HIDIC H-252B/C CPUリンク適用表-1

品　名		形　式	仕　様	取付ベースとモジュールの実装関係		
				基本	増設	リモート
CPU	H-252C	CPU22-02HC※1	入出力最大464点(16点I/O時)プログラム容量15.7kステップ(RAM内蔵) CPUリンク対応 RS232C 2ポート	○	–	–
	H-252B	CPE22-02HB	入出力最大464点(16点I/O時)プログラム容量15.7kステップ(RAM内蔵) CPUリンク対応	○	–	–
	H-250	CPU21-02H	入出力最大256点(16点I/O時)プログラム容量7.6kステップ(RAM内蔵)	–	–	–
	H-200	CPU-02H	入出力最大256点(16点I/O時)プログラム容量7.6kステップ(RAM内蔵)	–	–	–
		CPE-02H	入出力最大256点(16点I/O時)プログラム容量7.6kステップ(ROMメモリ用CPU)	–	–	–
ベース	高機能（通信機能バス付き）	BSH-3	3スロット	○	○	–
		BSH-5	5スロット	○	○	–
		BSH-7	7スロット	○	○	–
		BSH-10	10スロット	○	○	–
	標　準	BSM-3A	3スロット	–	–	○
		BSM-4A	4スロット	–	–	○
		BSM-5A	5スロット	–	–	○
		BSM-6A	6スロット	–	–	○
		BSM-7A	7スロット	–	–	○
		BSM-9B	9スロット	–	–	○
電源モジュール（ご使用モジュールの電源容量を確認の上お選びください。）		PSM-A	電源電圧AC100V/200V切り替え形	○*1	○*1	○
		PSM2-A2	電源電圧AC100V/200V連続形、CH2+CH3=0.7A	○*1	○*1	○
		PSM2-B	電源電圧AC100V/200V切り替え形、出力容量増加形	○	○	○
		PSM-D	電源電圧DC24V	○*1	○*1	○
入力モジュール	AC入力モジュール	PIM-A	8点、AC100V/200V入力	○	○	○
		PIM-AH	16点、AC100V/200V入力	○	○	○
		PIM-AW	16点、AC100V/200V入力〔着脱端子台〕	○	○	○
	DC入力モジュール	PIM-D	8点、DC24V入力	–	–	○
		PIM-DH	16点、DC24V入力	–	–	○
		PIM-DW	16点、DC24V入力〔着脱端子台〕	–	–	○
		PIH-DM	32点、DC24V入力〔コネクタ〕	○	○	–
	外部給電	PIM-DG	8点、DC24V入力	○	○	○
		PIM-DGH	16点、DC24V入力	○	○	○
		PIM-DGW	16点、DC24V入力〔着脱端子台〕	○	○	○
	DC入力モジュール（ソース）	PIM-DP	8点、DC24V入力、ソースタイプ	○	○	○
		PIM-DPH	16点、DC24V入力、ソースタイプ	○	○	○
		PIM-DPW	16点、DC24V入力、ソースタイプ〔着脱端子台〕	○	○	○

＊1.EEPROM内蔵タイプCPE22-02HCを含みます。

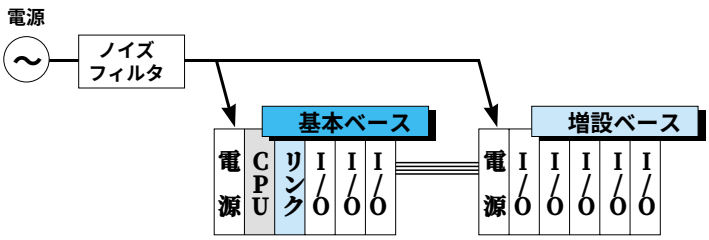
■HIDIC H-252B/C CPUリンク適用表-2

品名		形式	仕様	取付ベースとモジュールの実装関係		
				基本	増設	リモート
出力モジュール	リレー出力モジュール	POM-R	8点リレー出力	○*2	○*2	○
		POM-RC	8点リレー出力、独立接点	○*2	○*2	○
		POM-RH	16点リレー出力	○*2	○*2	○
		POM-RW	16点リレー出力〔着脱端子台〕	○*2	○*2	○
		POM-RCL	8点リレー出力、独立接点（微少電流タイプ）	○*2	○*2	○
		POM-RB	8点リレー出力、（バリスタ付）	○	○	○
		POM-RBC	8点リレー出力、独立接点（バリスタ付）	○	○	○
		POM-RBH	16点リレー出力（バリスタ付）	○	○	○
		POM-RBW	16点リレー出力〔着脱端子台〕（バリスタ付）	○	○	○
		POM-RBL	8点リレー出力、独立接点（微少電流タイプ）（バリスタ付）	○	○	○
	トライアック出力モジュール	POM-S	8点、トライアック出力	○	○	○
		POM-SH	16点、トライアック出力	○	○	○
		POM-SW	16点、トライアック出力〔着脱端子台〕	○	○	○
	トランジスタ出力モジュール（シンク）	POM-T	8点、トランジスタ出力	○	○	○
		POM-TH	16点、トランジスタ出力	○	○	○
		POM-TW	16点、トランジスタ出力〔着脱端子台〕	○	○	○
		POH-TM	32点、トランジスタ出力〔コネクタ〕	○	○	−
	トランジスタ出力モジュール（ソース）	POM-TP	8点、トランジスタ出力、ソースタイプ	○	○	○
		POM-TPH	16点、トランジスタ出力、ソースタイプ	○	○	○
		POM-TPW	16点、トランジスタ出力、ソースタイプ〔着脱端子台〕	○	○	○
入出力混合モジュール		PHH-DT	DC入力8点、トランジスタ出力8点	○	○	○
		PHM-TT	TTL入力16点、TTL出力16点	○	○	○
通信機能モジュール	同軸CPUリンク	LINK-02H	CPUリンク（同軸ケーブル）BYP-02H（バイパスリレー）付き2スロット幅	○	−	−
	ツイストペアCPUリンク	TLINK-02H	CPUリンクミニ1（ツイストペアケーブル）	○	−	−
	ツイストペアCPUリンク	IOLH-T	CPUリンクミニ2（ツイストペアケーブル）	−	−	−
	リモートI/O MINIリンク	REM-LH2	H-300以上のリモートミニ親局（REM-MMH）と接続（ツイストペアケーブル）	−	−	−
	リモートI/Oリンク	RIOH-TM	リモート親局（ツイストペアケーブル）	○	○	−
		RIOH-TL	リモート子局（ツイストペアケーブル）	−	−	○
高速カウンタモジュール		CTH	高速カウンタ、最大10kHz	○	○	−
位置決めモジュール		POSH	2軸パルス位置決めモジュール2スロット幅	○	○	−
シリアルI/Oモジュール		SIH	シリアルI/Oモジュール RS-232C 1ポート	○	○	−
アナログモジュール	アナログ入力モジュール	AGH-I	8量、4～20mA、8ビット電流入力	○	○	−
		AGH-IV	8量、0～10V、8ビット電圧入力	○	○	−
		AGH-IV2	8量、4～20mA、0～10V、12ビット電流/電圧入力切り替え形	○	○	−
		AGH-I16	8量、4～20mA、16ビット電流入力	○	○	−
		AGH-V16	8量、0～10V、16ビット電圧入力	○	○	−
	アナログ出力モジュール	AGH-O	4量、4～20mA、8ビット電流出力	○	○	−
		AGH-OD	2量、4～20mA、8ビット電流出力	○	○	−
		AGH-OV	4量、0～10V、8ビット電圧出力	○	○	−
		AGH-ODV	2量、0～10V、8ビット電圧出力	○	○	−

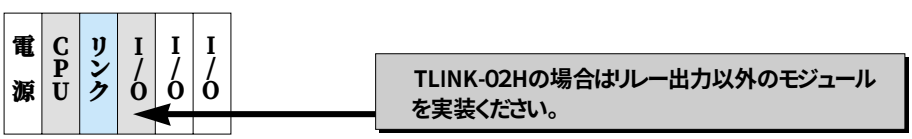
＊1.耐ノイズ性を向上させるために、電源の入力部に下記推奨のノイズフィルタをご使用ください。
Hシリーズは、耐環境性には高い信頼性をもっています。しかし、CPUリンクモジュールなど、大容量のデータを高速で通信するシステムにおいては、システム全体の耐ノイズ性や信頼性を向上させ、その機能を十分に活用いただくためにノイズフィルタのご使用をお勧めいたします。

★推奨ノイズフィルタ

メーカ名	型式	仕様
TDK（株）	ZGB2201-01	AC250V 3A
（株）トーキン	GT-2100R	AC250V 3A

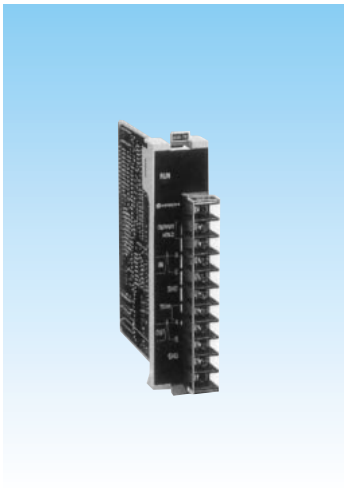


＊2.本出力モジュールをご使用の場合
CPUはリフレッシュモードでご使用ください。また、リフレッシュ命令も使用しないでください。使用リンクモジュールは、CPUモジュールの隣に実装してください。また、TLINK-02Hの場合は、その隣にリレー出力以外のモジュールをご使用ください。



＊3.本リモートI/Oはリモート通信機能･入出力部･電源部が一体構造のためベースは不要です。

リモートI/O MINIリンクモジュール/リモートI/O モジュール/リモート子局ユニット



特長

リモートI/O MINIリンクモジュール

●Hシリーズを使って階層システムが構築できます。
●1台のリンクモジュール（REM-LH12）で128点の通信が可能です。
●上位機種のリモート子局と混在が可能です。

リモートI/Oモジュール、リモート子局ユニット

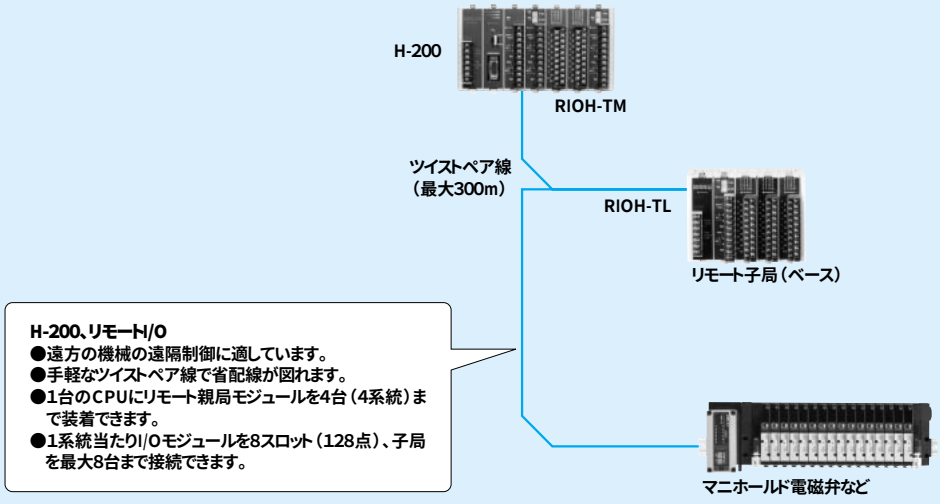
●遠方の機械の遠隔制御に最適です。
●手軽なツイストペア線で省配線が図れます。
●1台のCPUにリモート親局モジュールを4台（4系統）まで装着できます。
●1系統当たりI/Oモジュールを8スロット（128点）、子局を最大8台まで接続できます。

仕様

形式 / 項目	リモートI/O MINIモジュール	リモートI/Oモジュール	
		親局	子局
	REM-LH2	RIOH-TM	RIOH-TL
伝送方式	半2重シリアル、フレーム同期		
伝送速度	768kビット/s		
伝送点数	入出力合計128点（8スロット）		
絶縁・変調方式	トランス変調バイポーラパルス変調方式		
伝送エラーチェック	反転二連送		
伝送リフレッシュ時間	4～64ms	約5ms	

形式 / 項目		リモートI/O MINIモジュール	リモートI/Oモジュール	
			親局	子局
		REM-LH2	RIOH-TM	RIOH-TL
モジュール実装可能数		2台	4台	
接続モジュール数		8台/親局	8子局/親局	
内部消費電流	CH1(5V)	150mA	130mA	150mA
	CH2(24V)	25mA	20mA	
	CH3(24V)	0mA	5mA	

リモートI/O　MINI使用システム構成



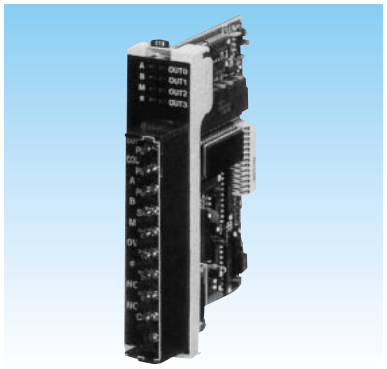
H-200、リモートI/O
●遠方の機械の遠隔制御に適しています。
●手軽なツイストペア線で省配線が図れます。
●1台のCPUにリモート親局モジュールを4台（4系統）まで装着できます。
●1系統当たりI/Oモジュールを8スロット（128点）、子局を最大8台まで接続できます。

リモートI/O　MINIシステムに接続可能な製品

親/子	親局		子局					
形式	REM-MMH	RIOH-TM	REM-LMH	RIOH-TL	REM-LH2	計装変換器25CH	マニホールド電磁弁	マニホールド電磁弁
メーカー	日立	日立	日立	日立	日立	(株)エムシステム技研殿	シーケーディ(株)殿	(株)コガネイ殿
最大出力点数	64ワード/64ワード	128点	64ワード/64ワード	128点	128点	16ワード	16点出力	16点出力

日立製品以外については、各メーカーへ直接お問い合わせください。

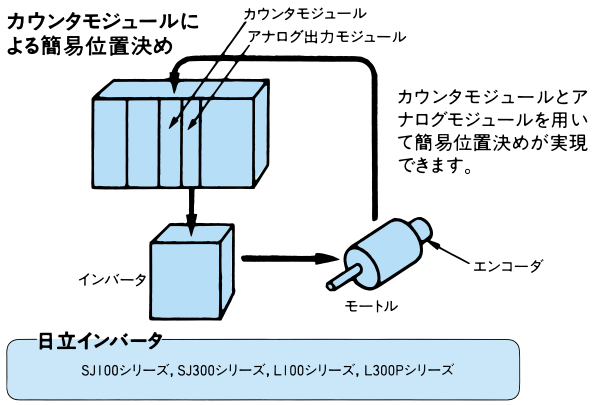
カウンタモジュール



特長

●10kHzパルスを65,535までカウント可能。
●データダイレクト読み出し（特別な読み出し命令不要）

システム構成例



仕様

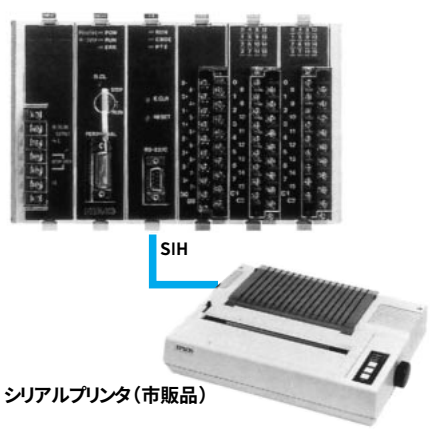
項目＼形式	CTH	
対象機種	H-200/H-250/H-252	
量数	1	
カウント数	0～9,999/0～65,535	
最高カウント周波数	10kHz	
カウント方式	2相パルスカウント方式（アップ、ダウン） 単相正パルス、逆パルスカウント方式	
マーカー入力	負論理	
出力点数	4点	
占有点数/スロット数	128点/1スロット	
内部消費電流	CH1	200mA max.
	CH3	160mA max.

シリアルI/Oモジュール

特長

●シーケンスプログラムによる通信ができます。
●プリンタ、簡易表示器、モデム等の使用が可能。

応用例



仕様

項目＼形式	CTH
対象機種	H-200/H-250/H-252
シリアルポート数	RS-232C、1ポート
通信形態	1：1（RS-232C）
伝送速度	2400、4800、9600、19200ビット/s
送受信バッファ	受信用1024バイト、送信用1024バイト
通信手順	無手順/専用プロトコル（パソコンモード）
データフォーマット	スタートビット1、データ長7または8、パリティ有無、パリティ指定偶数奇数、 ストップビット1または2をDIP SWで設定（2ポート共通）
占有点数/スロット数	128点/1スロット
伝送距離	15m
質量	約170
消費電流	0.1A（DC5V）

アナログ入出力モジュール

特長

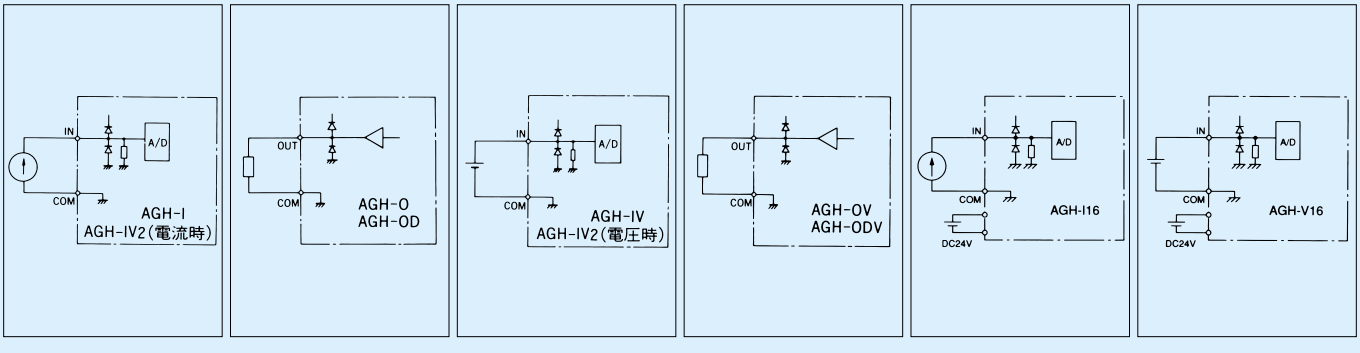
●16ビット入力が可能
●12ビットタイプは電流・電圧変換可能
●変換時間が高速1ms又は5msさらに16ビットタイプは0.5ms

仕様

項目＼形式	AGH-I	AGH-O	AGH-OD	AGH-IV	AGH-I16	AGH-V16	AGH-OV	AGH-ODV	AGH-IV2
入出力仕様	アナログ電流入力	アナログ電流出力		アナログ電圧入力	アナログ電流入力	アナログ電圧入力	アナログ電圧出力		電流/電圧入力(SW切り替え)
電圧/電流レンジ	4～20mA			DC0～10V	4～20mA	DC0～10V	DC0～10V		4～20mA/DC10V
入力インピーダンス	220Ω	−		100kΩ	約100Ω	約100kΩ	−		約100Ω/約100kΩ
負荷インピーダンス	−	0～500Ω		−	−	−	10kΩ以上		−
分解能	8ビット				16ビット		8ビット		12ビット
変換時間	1ms				0.5ms		1ms		5ms
総合精度	±(1%+1ビット)	±1%		±(1%+1ビット)	±0.5%（FS値）		±1%		フルスケール値の±0.5%
点数	8点	4点	2点	8点	8点		4点	2点	8点
絶縁方式	フォトカプラ（DC入力と非絶縁）								
入力間絶縁	非絶縁								
消費電流（平均）※注1 CH1	25mA	50mA	50mA	25mA	45mA		50mA	30mA	80mA
消費電流（平均）※注1 CH2	0mA	0mA	0mA	0mA	0mA		0mA	0mA	0mA
消費電流（平均）※注1 CH3	60mA	250mA	140mA		0mA		140mA	70mA	0mA
外部消費電流	−	−	−	−	約250mA（DC24V）		−	−	−

※注1．モジュールでの消費電流を示します。各チャンネルごとの合計消費電流を電源モジュールを最大負荷電流以下にしてご使用ください。

回路図

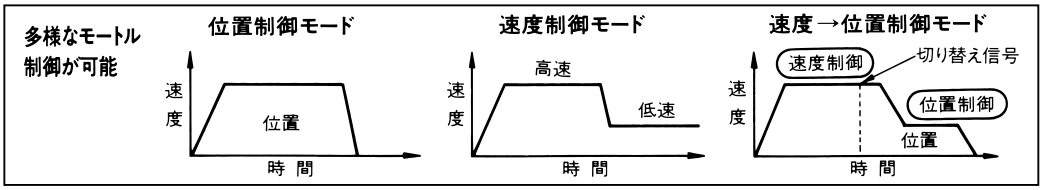


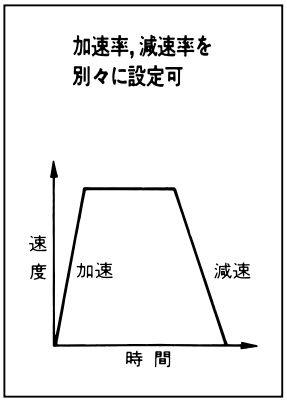
位置決めモジュール

特長

1.軸パルス位置決めモジュール（POSH）

- ●独立2軸、直接補間つき同時2軸可能。
- ●位置制御、速度制御、速度→位置制御モードをサポートし、多様なモートル制御が可能。
- ●最高速度25kパルス/s、50kパルス/s、100kパルス/s、200kパルス/sの4段階設定でき、制御対象モータ（パルスモータ、サーボモータ）に合わせ、適切な速度範囲を選択可。
- ●各軸256データ（位置決めデータ）。
- ●加速率、減速率を別に設定可。
- ●3種類の運転モード（1ステップ運転、1サイクル運転、連続サイクル運転）が可能。
- ●速度データなどの共通パラメータおよび位置決めデータのバックアップが可能。



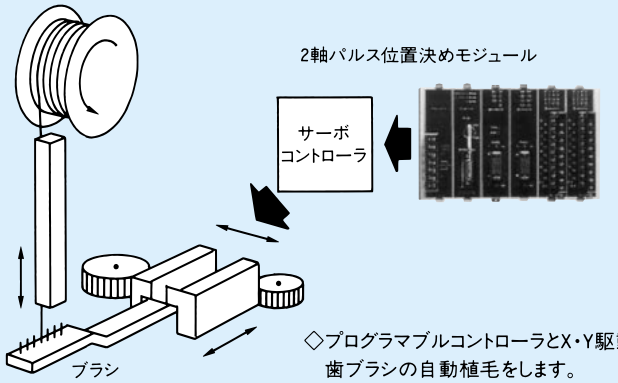


仕様

項目＼形式	POSH
対象機種	H-200/H-250/H-252
スロット数	2スロット
制御軸数	2軸
補間機能	直接補間機能あり（同時2軸可能）
速度指令	6.25パルス/s～200kパルス/s（共通パラメータにより選択）
加減速	台形加減速（自動運転時、加速、減速別に設定）
加減速率	19.53パルス/s²～2,560パルス/s²（共通パラメータにより選択）
位置指令	±7,999,999パルス
出力方式	パルス列およびクロック+方向信号
原点復帰機能	4モード
占有点数	128点
自動運転モード	3モード
内部消費電流	DC5V　0.3A

応用例

〈自動植毛の制御〉



◇プログラマブルコントローラとX･Y駆動装置とで，
歯ブラシの自動植毛をします。

■H-200/250/252

性能仕様（ユニワイヤインタフェース）（形式：RIOH-HUN、RIOH-UN）

I / O 点数	128点の場合（I/Oの組合せ128/0、112/16、96/32、80/48、64/64、48/80、32/96、16/112、0/128） 64点の場合（I/Oの組合せ64/0、48/16、32/32、16/48、0/64） ロータリーディップスイッチにより入出力モードを選択する
ユニワイヤポート	1ポート（20アドレスMax.）
伝送方式	同期･多重方式
伝送手順	ユニワイヤプロトコル
伝送距離	総延長200m
リフレッシュタイム	128点の場合　約5.5mS（モニタ接続時6.0mS Max.） 64点の場合　約3.1mS（モニタ接続時3.6mS Max.）
伝送遅れ時間	128点の場合　約5.5～11.0mS（モニタ接続時6.0～12mS Max.） 64点の場合　約3.1～6.2mS（モニタ接続時3.6～7.2mS Max.）
電源	+5V±5% 0.2A（バス側から供給） +24V +15%、-10%　リップル0.5Vpp以下 電流 0.2A（ターミナルと負荷の電流は含まず）
モニタ端子	別売りのモニタユニットRM-120によりON/OFF状態のモニタが可能 異常IDのモニタが可能
その他	伝送線D-G間、D-P間の短絡検知、保護 伝送線の断線検知 上記異常状態をLEDにより表示

（注1）ユニワイヤシステムの120シリーズのターミナルが接続できます。30シリーズは接続できません。

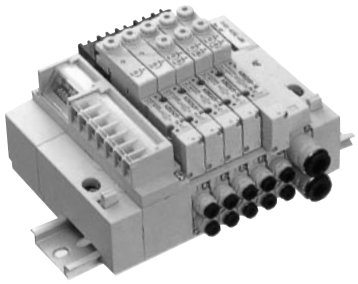
■ユニワイヤ電磁弁（黒田精工（株））

プラグイン・省配線型

DHS□-A$^{05}_{12}$E

（ユニワイヤシステム対応）

ユニワイヤ専用電磁弁（A05E、A12E）の採用により、ドライブユニットも不要でコンパクト。



省配線型（ユニワイヤHシステム対応）

マニホールド形式		標準仕様				外部パイロット使用（オーダーメイド）			
		DHS□-A05E		DHS□-A12E		DHX□-A05E		DHX□-A12E	
		共通P、共通R パイロット集合排気 ABポート側面配管				共通P、共通R、共通外部パイロット パイロット集合排気 ABポート側面配管			
ポートサイズ	Pポート	φ8継手		φ10継手		φ8継手		φ10継手	
	Rポート	φ8継手	マフラブロック付	φ10継手	マフラブロック付	φ8継手	マフラブロック付	φ10継手	マフラブロック付
	ABポート	φ4、φ6継手	φ4、φ6継手	φ6、φ8継手	φ6、φ8継手	φ4、φ6継手	φ4、φ6継手	φ6、φ8継手	φ6、φ8継手
	Yポート	–	–	–	–	φ4継手	マフラブロック付	φ4継手	マフラブロック付
	Xポート	–	–	–	–	φ4継手	φ4継手	φ4継手	φ4継手
連数		2～20連							
取付け		DIN レール取付け							
搭載電磁弁		A05ES25 A05ED25 A05ED35 A05EE35 A05EO35		A12ES25 A12ED25 A12ED35 A12EE35 A12EO35		A05ES25X A05ED25X A05ED35X A05EE35X A05EO35X		A12ES25X A12ED25X A12ED35X A12EE35X A12EO35X	

仕様

一般仕様　プログラマブルコントローラ本体

項　　目	仕　　様
電　源　電　圧	AC100/110/120V（50/60Hz）、AC200/220/240V（50/60Hz）
電源電圧変動範囲	AC85～132V、AC170～264V
使用周囲温度	0～55℃（保存周囲温度 －10～75℃）
使用周囲湿度	20～90%RH結露ないこと（保存周囲湿度 10～90%RH結露なきこと）。
耐　振　動	JIS C 0911に準拠
耐ノイズ性	○ノイズ電圧　1,500Vp.p.　ノイズパルス幅　100ns、1μs…ノイズシミュレータによる。 ○NEMA ICS2-230-42～45による（ただし42.01項は除く）○静電ノイズ金属露出部に3,000V
絶　縁　抵　抗	AC外部端子－ケースアース（FG）端子間　200MΩ以上　DC500Vメガにて
耐　電　圧	AC外部端子－ケースアース（FG）端子間　AC1500V　1分間
接　地	第3種専用接地
使用雰囲気	腐食性ガスがないこと、じんあいがひどくないこと
構　造	開放壁取り付け形
冷　却	自然空冷

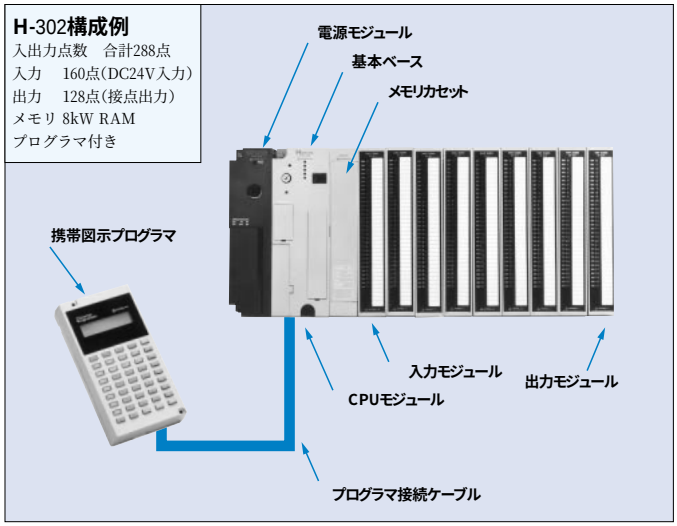
一般仕様　命令語プログラマ（PGM-CHH）

項　　目	仕　　様
電　源　電　圧	DC 5V、DC±12V（CPUモジュールから受電）
使用周囲温度	0～45℃（保存周囲温度 －10～60℃）
使用周囲湿度	20～90%RH結露ないこと（保存周囲湿度 10～90%RH結露なきこと）。
耐　振　動	JIS C 0911に準拠
使用雰囲気	腐食性ガスがないこと。じんあいがひどくないこと
構　造	ハンディ電卓タイプ
冷　却	自然空冷
消費電流（DC5V）	命令語プログラマ：0.5A

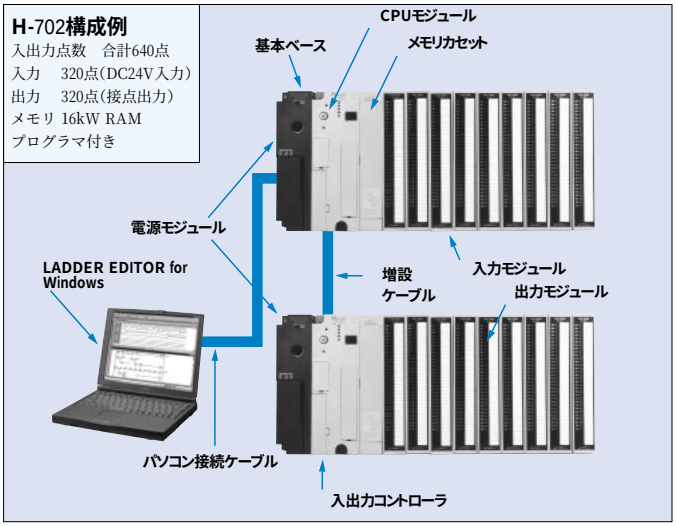
構成例

制御の目的で、規模で、自在に構成可能。

H-302による入力点数160点（DC24V入力）、出力点数128点（接点出力）の合計288点と、H-702による入力点数320点（DC24V入力）、出力点数320点（接点出力）の合計640点の構成例を下記に示します。



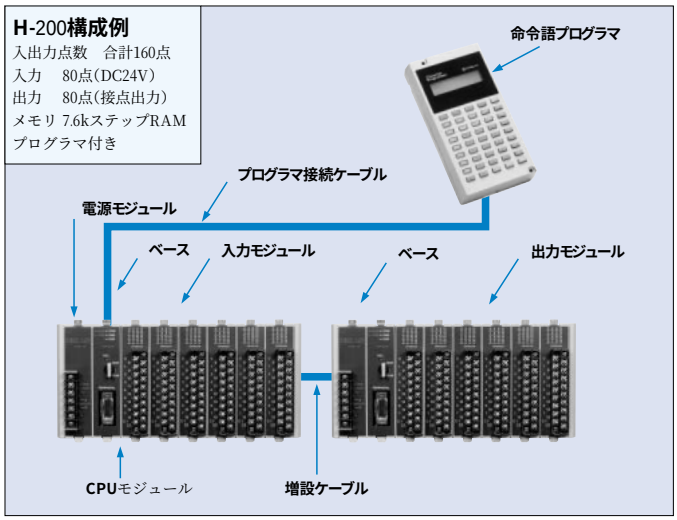
NO	品　名	形　式	数量
	C P U モ ジ ュ ー ル	CPU2-03H	1
	基　本　ベ　ー　ス	BSU-09H	1
	メ モ リ カ セ ッ ト	RAM2-08H	1
	電　源　モ ジ ュ ー ル	AVRC-04H	1
	入　力　モ ジ ュ ー ル	XHS24BH	5
	出　力　モ ジ ュ ー ル	YRY20BH	4
	命 令 語 プ ロ グ ラ マ	PGM-CHH	1
	プ ロ グ ラ マ 接 続 ケ ー ブ ル	PGCB02H	1



NO	品　名	形　式	数量
	C P U モ ジ ュ ー ル	CPU2-07H	1
	基　本　ベ　ー　ス	BSU-09H	1
	増　設　ベ　ー　ス	EXU-11H	1
	メ モ リ カ セ ッ ト	RAM2-16H	1
	電　源　モ ジ ュ ー ル	AVRC-06H	2
	入　力　モ ジ ュ ー ル	XHS24BH	10
	出　力　モ ジ ュ ー ル	YRY20BH	10
	入 出 力 コ ン ト ロ ー ラ	IOC-01H	1
	増　設　ケ　ー　ブ　ル	CBL-05H	1
	LADDER EDITOR for Windows※	HLW-PC3	1
	パソコン接続ケーブル　DOS/Vパソコン用	WVCB02H	1

※㊟パソコン本体は別途ご用意下さい。

H-200による入力点数80点（DC24V入力）、出力点数80点の（接点出力）の合計160点の構成例を下記に示します。



NO	品　名	形　式	数量
	C P U モ ジ ュ ー ル	CPU2-02H	1
	ベ　ー　ス	BSM-6A	1
	ベ　ー　ス	BSM-5A	1
	電　源　モ ジ ュ ー ル	PSM2-A2	2
	入　力　モ ジ ュ ー ル	PIM-DH	5
	出　力　モ ジ ュ ー ル	POM-RBH	5
	増　設　ケ　ー　ブ　ル	CNM-06	1
	命 令 語 プ ロ グ ラ マ	PGM-CHH	1
	プ ロ グ ラ マ 接 続 ケ ー ブ ル	PGCB02H	1

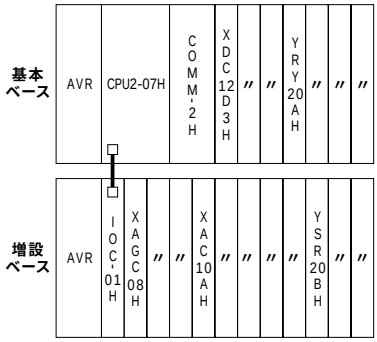
電源モジュールはスロット数に入らず、CPUモジュールはスロット数に入ります。

電源モジュールの選定/電源供電方法

電源モジュールの選定例（H-302〜H-2002、H-4010）

各ベースに実装されるモジュールの消費電流の総計を求め、最適な電源モジュールを選定します。
この時、消費電流総計に対し、10%の余裕をみて選定するようにお願いします。

構成例（H-702システム）



形　式	数量	5V消費電流	24V消費電流
CPU2-07H	1	2.05×1	—
COMM-2H	1	0.8×1	—
XDC12D3H	3	0.3×3	—
YRY20AH	4	0.12×4	0.16×4
合　計（A）		4.23	0.64

形　式	数量	5V消費電流	24V消費電流
IOC-01H	1	0.22×1	—
XAGC08H	3	0.06×3	0.07×3
XAC10AH	5	0.12×5	—
YSR20BH	3	0.8×3	—
合　計（A）		3.4	0.21

AVRの選定

基本ベースの場合

4.23A（5V消費電流）×1.1（10%の余裕）=4.653A＜9A
0.64A（24V消費電流）×1.1（10%の余裕）=0.704A＜1A
60W範囲の確認（60W以下か）
5V×4.653A+24V×0.704A=40.2W（60W以下）使用可能

AVRC-08Hを選定

増設ベースの場合

3.4A（5V消費電流）×1.1（10%の余裕）=3.74A＜4A
0.21A（24V消費電流）×1.1（10%の余裕）=0.231A＜2A
60W範囲の確認（60W以下か）
5V×3.74A+24V×0.231A=24.2W（60W以下）使用可能

AVRC-04Hを選定

AVRの選定上の注意

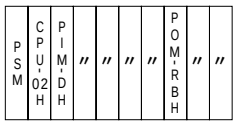
・AVRC-××Hをご使用の場合、DC5VとDC24V系の出力容量の合計が60Wまでの範囲でご使用ください。

〈例〉
AVRC-04Hの場合、
DC5Vを4Aご使用なら、
DC24Vは1.6A以下でご使用ください。
5V×4A+24V×＿＿A＜60W

電源モジュールの選定例（H-200）

各ベースに実装されるモジュールの消費電流の総計を求め最適なモジュールを選定します。この時各チャンネルごとの合計消費電流が電源モジュールの最大負荷電流以下になる様にします。

構成例（H-200システム）



形　式	数量	消費電力		
		CH1	CH2	CH3
CPU-02H	1	150×1	5×1	—
PIM-DH	5	4.5×5	—	72×5
POM-RBH	3	1.8×3	80×3	—
合　計（mA）		177.9	240	360

AVRの選定

CH1=177.9mA＜1.0A
CH2=240mA　＜0.3A
CH3=360mA　＜0.45A
PSM-Aを選定。

ご存知ですか

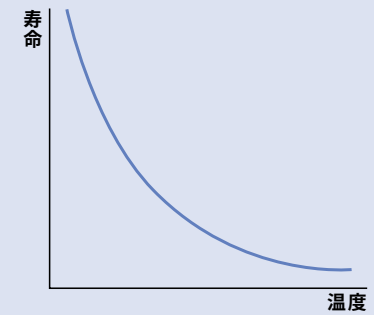
PC（プログラマブル･コントローラ）では交流電源からIC電源を作成するために定電圧電源（電源モジュール）を使用しています。この中には、数多くの電解コンデンサが使われており、この電解コンデンサは内部で科学反応が行われていますので、周囲温度によって寿命は極端に変ります。

一般に電解コンデンサには「アレニウスの法則（10%2倍則）」があり、温度が10℃高くなると寿命は1/2となり、10℃低くなると寿命は2倍に伸びるという特性があり、電源モジュールの寿命を支配しています。

電源モジュールの寿命は、定格周囲温度において通常約5年を基準として交換が必要となりますので予備品を考慮のうえ、ご使用ください。

寿命を伸ばすために、電源モジュールに対する通風、周囲温度を考慮した実装をお願い致します。

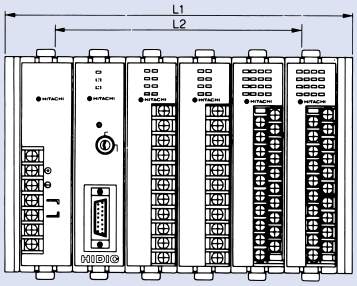
「アレニウスの法則」

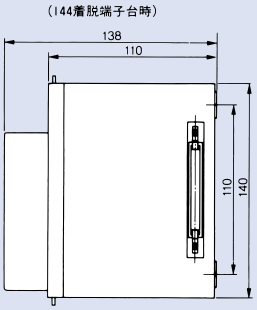


（単位：mm）

H-252/250/200　寸法図

ベースBSM-5（5スロット）での外形図





ベース形式	BSM-9B	BSM-7A	BSM-6A	BSM-5A	BSM-4A	BSM-3A
モジュール実装枚数	9	7	6	5	4	3
L1	370	300	265	230	195	160
L2 取り付け穴ピッチ	310	240	200	160	120	80

ベース形式	BSH-10	BSH-7	BSH-5	BSH-3
モジュール実装枚数	10	7	5	3
L1	405	300	230	160
L2 取り付け穴ピッチ	345	240	160	80

マニュアル一覧

機種	名称	和文マニュアルNo.
H-302/702/1002/2002/4010	H-302/702/2002 ハードウェア編	NB322※
	H-302/702/2002 ソフトウェア編	NB323※
	H -4010 追加マニュアル	NJI-279※
	命令語プログラマ（PGM-CHH）	NB981※
	CPUリンクモジュール	NB962※
	光CPUリンクモジュール	NB975※
	リモート入出力モジュール	NB961※
	光リモート入出力モジュール	NB974※
	リモートI/O MINIモジュール	NB318※
	インテリジェントシリアルポートモジュール（COMM-2H）	NB997※
	シリアルI/Oモジュール（SIO-H）	NB313※
	インテリジェントイーサネットインターフェースモジュール（LAN-ETH2）	NJI-426※
	カウンタモジュール（1量）	NB973※
	カウンタモジュール（2量）	NB311※
	位置決めモジュール（1軸）	NB972※
	位置決めモジュール（2軸）	NB312※
	測温抵抗体入力モジュール	NB310※
	アナログ入出力・割込入力モジュール	NB970※
	メモリカセット	NB321※
	電源モジュール	NB968※
	入出力コントローラ	NB969※
H-200/250/252	ユニワイヤシステムインターフェースモジュール（親局）	NJI-357※
	H-200	NJI-053※
	H-250/252B ハードウェア編	NJI-143※
	H-250/252B ソフトウェア編	NJI-144※
	H-252C 追加マニュアル	NJI-171※
	CPUリンクモジュール（LINK-02H）	NJI-135※
	CPUリンクモジュール（TLINK-02H）	NJI-132※
	カウンタモジュール	NJI-075※
	シリアルI/Oモジュール	NJI-084※
	位置決めモジュール	NJI-065※
	H-200/250/252 用ユニワイヤシステムインターフェースモジュール（親局）	NJI-346※
ソフトウェア	LADDER EDITOR for Windows（R）（HLW-PC3）	NJI-206※
	LADDER EDITOR（HL-PC3） PC9800シリーズ用	NB325※
CD-ROMマニュアル集	Hシリーズ、EH-150およびMICRO-EHの全マニュアルのPDF版	CDM-PLC

※はバージョンNo.を示します。